

## ◆ 今週のコメント

- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(男性, 60歳代)あり, 症状は粘血便です。本年の累積報告数は20例となっています。
- ・ 水痘(入院例)の報告が1例(女性, 30歳代)あり, 症状は発熱, 発疹, 肝炎, 膿痂疹です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は不明です。本年初めての報告となっています。

## ◆ 今週のトピックス: <伝染性紅斑>

- ・ 京都市の伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.41(17例)で, 前週 0.59(24例)より減少しているものの, 過去5年の平均値を大幅に上回る報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)1例【1月以降の累積報告数 20例】
- ・ 五類:水痘(入院例)1例【1月以降の累積報告数 1例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.98	327
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.49	61
	③ RSウイルス感染症	0.71	29
	④ 伝染性紅斑	0.41	17
	⑤ 突発性発しん	0.37	15
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

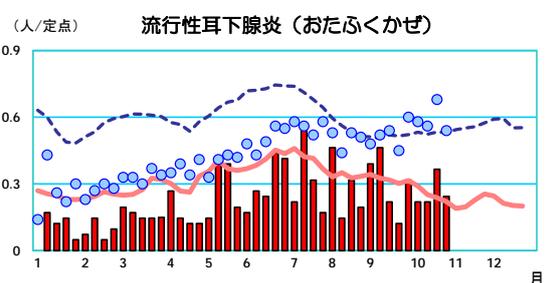
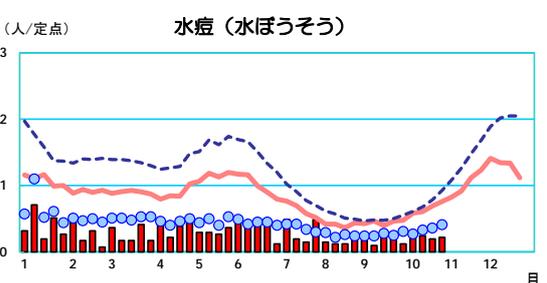
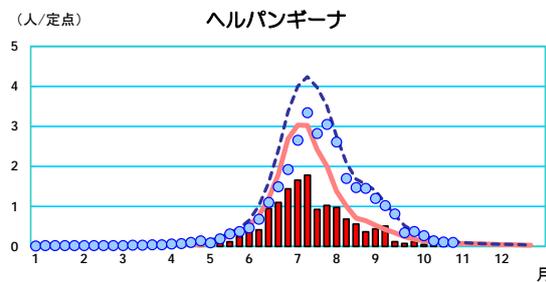
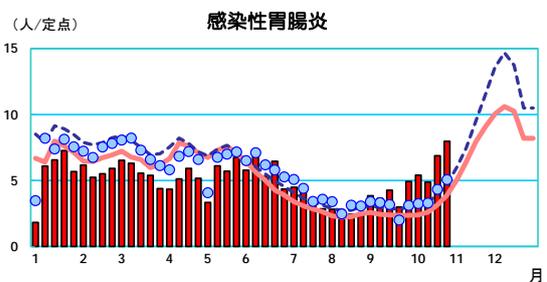
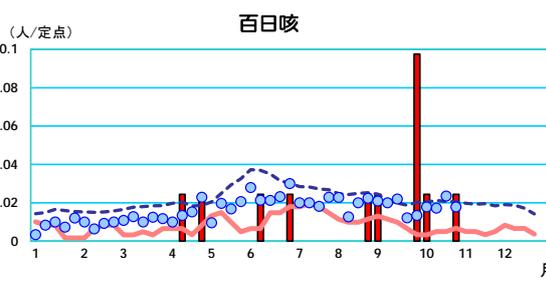
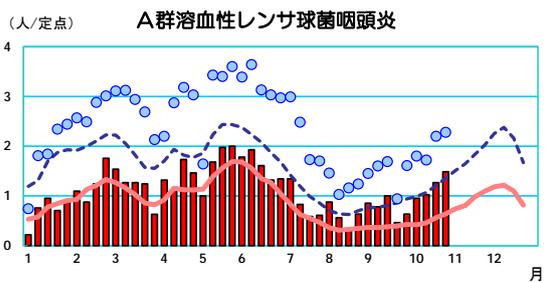
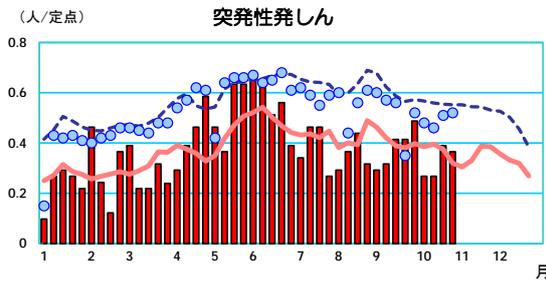
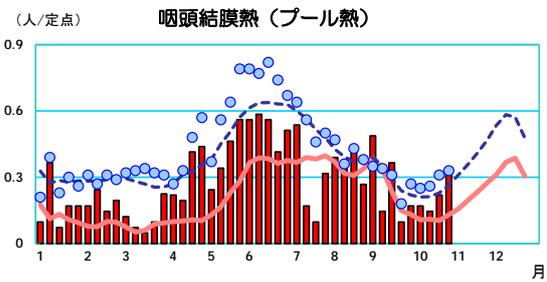
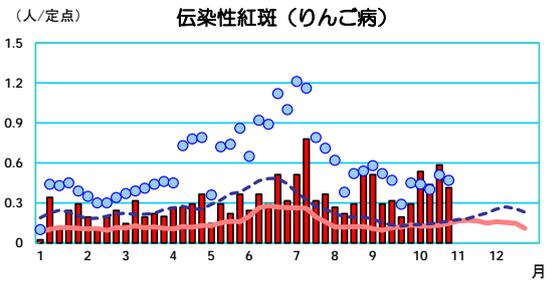
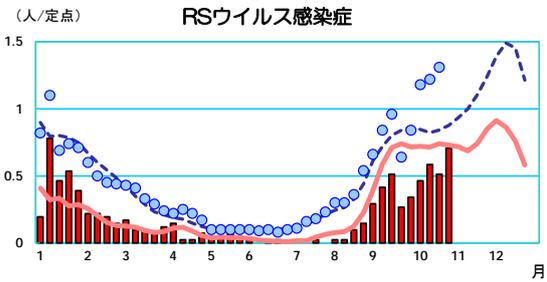
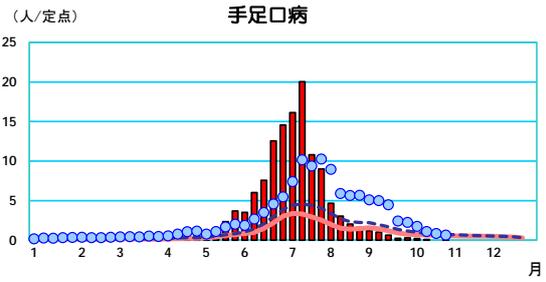
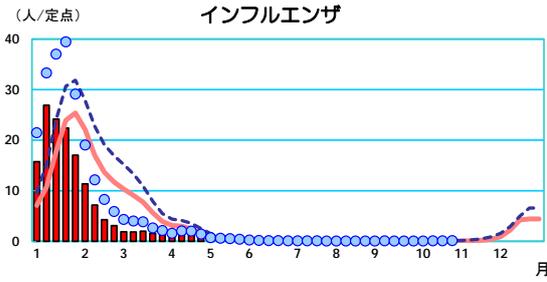
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <伝染性紅斑>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成27年11月5日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



# 第44週(10月26日～11月1日)トピックス: <伝染性紅斑>

## 京都市及び全国の発生動向

京都市の伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.41(17例)で、前週 0.59(24例)より減少しているものの、過去5年の平均値を大幅に上回る報告数となっています(図1)。感染症法に基づく調査が開始された平成11年以降、流行のピークが高く、比較的大きな流行となったのは、平成13～14年、平成18～19年、平成22～23年であり、4～5年ごとの周期で報告数が多くなっています(図2)。全国においても、第26週から第44週まで、過去10年間で最も報告数の多い状況が続いていることから(図3)、今後の発生動向に注意が必要です。

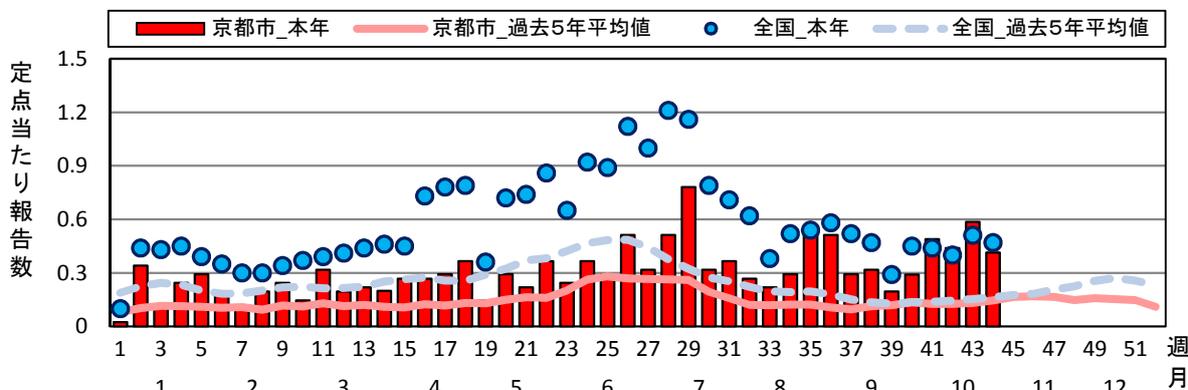
## 感染経路と症状

本疾患は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきによる飛沫あるいは接触によって感染します。10～20日程度の潜伏期間の後、両頬にりんごのような紅い発疹が現れ、続いて手足にも発疹がみられます。5歳前後の小児に多く、ほとんどは軽症ですが、成人では関節炎症状がでることもあります。また、妊娠中の方が感染すると、まれに胎児の異常や流産を起こす可能性があります。

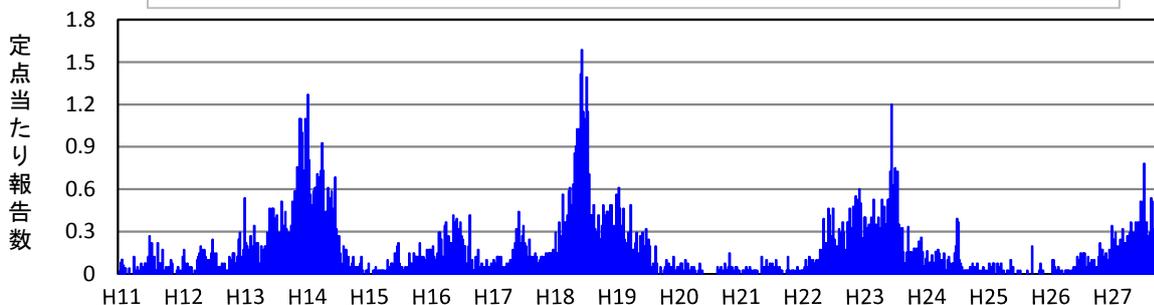
## 予防

予防接種はありませんので、日頃から一般的な感染予防対策(手洗い、うがい、せきエチケット等)を心がけることが大切です。妊娠中の方は、伝染性紅斑の流行期には、かぜ症状の人に近付かないように注意してください。

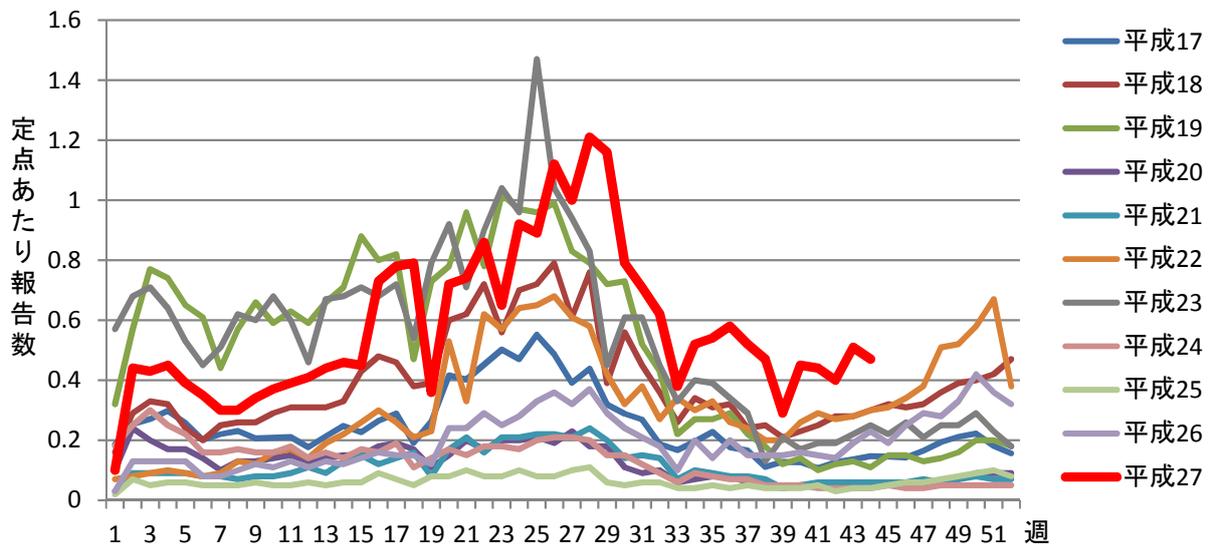
(図1)京都市及び全国の定点あたり報告数の推移



(図2)平成11年～平成27年第44週の定点あたり報告数の推移(京都市)



(図3)伝染性紅斑の推移(全国:平成17年～平成27年第44週まで)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第44週

疾病,行政区別報告数

平成27年10月26日～平成27年11月1日

データ入手日:平成27年11月5日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	2	8	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	3	-	6	43	1	1	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
中京	1	1	-	2	23	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	-	2	-	-	20	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	6	5	15	5	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
下京	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	6	30	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	12	2	5	99	3	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	-	2	6	12	53	3	1	5	7	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	2	-	12	41	-	-	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	29	14	61	327	9	2	17	15	1	-	10	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	-	0.25	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	0.25	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.67	2.67	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.75	-	1.50	10.75	0.25	0.25	0.25	0.50	-	-	0.25	-	1.00	-	-	-	-	-	-
中京	0.20	0.33	-	0.67	7.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.00	-	-	10.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	1.50	1.25	3.75	1.25	-	-	-	0.25	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
下京	-	0.50	-	-	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2.00	10.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	2.40	0.40	1.00	19.80	0.60	-	1.20	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	0.29	0.86	1.71	7.57	0.43	0.14	0.71	1.00	0.14	-	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	0.50	-	3.00	10.25	-	-	0.75	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	0.71	0.34	1.49	7.98	0.22	0.05	0.41	0.37	0.02	-	0.24	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第44週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年10月26日～平成27年11月1日

データ入手日:平成27年11月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢2	29	2	9	10	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢3	14	-	3	6	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢4	61	-	-	1	2	5	11	9	8	7	9	1	5	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	327	2	24	73	55	33	13	28	21	8	9	11	17	6	27	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢2	9	-	1	2	2	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢4	17	-	-	2	-	3	5	2	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢1	15	-	4	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢4	10	-	-	2	-	2	1	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢2	0.71	0.05	0.22	0.24	0.17	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢3	0.34	-	0.07	0.15	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢4	1.49	-	-	0.02	0.05	0.12	0.27	0.22	0.20	0.17	0.22	0.02	0.12	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	7.98	0.05	0.59	1.78	1.34	0.80	0.32	0.68	0.51	0.20	0.22	0.27	0.41	0.15	0.66	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢2	0.22	-	0.02	0.05	0.05	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.05	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢4	0.41	-	-	0.05	-	0.07	0.12	0.05	0.05	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢1	0.37	-	0.10	0.20	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢2	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢4	0.24	-	-	0.05	-	0.05	0.02	-	0.02	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.40	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第44週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年11月5日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	4	1	2	1	1
RSウイルス感染症	11	14	19	24	21	29
咽頭結膜熱	4	7	7	6	9	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	26	39	42	52	61
感染性胃腸炎	123	202	222	200	282	327
水痘	8	5	11	10	8	9
手足口病	10	12	9	4	-	2
伝染性紅斑	8	12	22	18	24	17
突発性発しん	17	20	11	11	16	15
百日咳	-	4	1	-	-	1
ヘルパンギーナ	3	5	2	2	2	-
流行性耳下腺炎	5	13	9	9	15	10
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	5	3	8	-	4
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	214	329	357	336	430	490

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	0.06	0.01	0.03	0.01	0.01
RSウイルス感染症	0.27	0.34	0.46	0.59	0.51	0.71
咽頭結膜熱	0.10	0.17	0.17	0.15	0.22	0.34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.46	0.63	0.95	1.02	1.27	1.49
感染性胃腸炎	3.00	4.93	5.41	4.88	6.88	7.98
水痘	0.20	0.12	0.27	0.24	0.20	0.22
手足口病	0.24	0.29	0.22	0.10	-	0.05
伝染性紅斑	0.20	0.29	0.54	0.44	0.59	0.41
突発性発しん	0.41	0.49	0.27	0.27	0.39	0.37
百日咳	-	0.10	0.02	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	0.07	0.12	0.05	0.05	0.05	-
流行性耳下腺炎	0.12	0.32	0.22	0.22	0.37	0.24
急性出血性結膜炎	0.10	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.50	0.30	0.80	-	0.40
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1.00	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	5.67	8.36	9.90	8.78	10.48	12.24

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。